

七夕飾りを作りました

7月7日は、七夕です。七夕は、「たなばた」または「しちせき」と読み、古くから行われている日本のお祭り行事で、1年間の重要な節句をあらわす五節句のひとつにも数えられています。毎年、7月7日の夜に、願いごとを書いたいとりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残っています。



7月7日の朝には、放送委員会が『たなばた』の曲を放送してくれていました。

子どもたちは、七夕飾りをしたり、『たなばた』の曲を聴いたりしながら、季節を感じました。



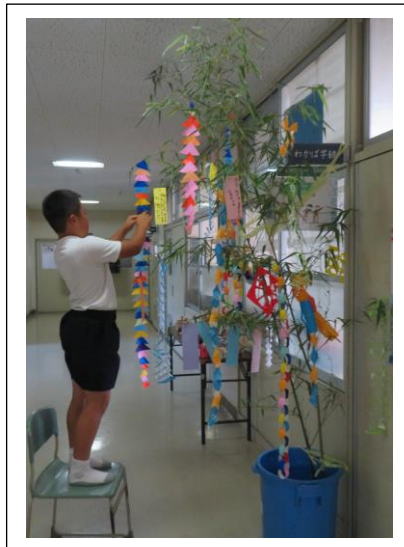
毎年、7月7日は七夕です。七夕は、織姫と彦星が一年に一度だけ、天の川で会える日とされています。

子どもの中には、「笹の上の方に短冊を飾ると、願いが叶いやすいと聞きました。」と言いながら、短冊を笹に飾る子もいました。

みんなの願いが叶いますように。

いぶき・わかば学級の七夕飾り

いぶき・わかば学級では、6月から七夕飾りを計画的に作ってきました。7月3日。いよいよいぶき・わかば学級のみんなで作った飾りを笹につける日がやってきました。7月7日に向けて、笹に願いごとを書いた短冊を飾りました。

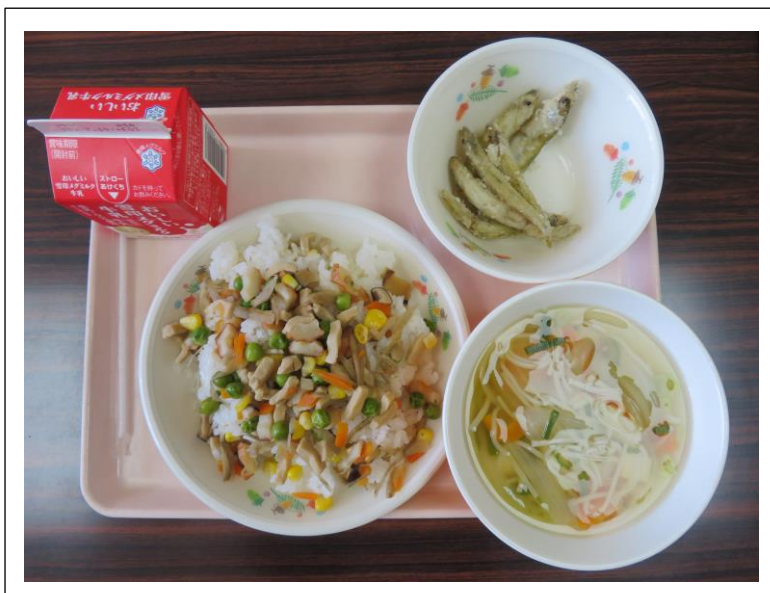


時間をかけて、みんなで七夕飾りを作りました。
みんなの願いごとが叶いますように。

1年生も、ハサミの使い方の学習の発展として、楽しい七夕飾りを作ることができました。

給食でも七夕を感じました

7月7日は、季節を感じられるように、七夕メニューでした。七夕メニューには、そうめんを使った料理ができました。



1年生も七夕飾りを作りました

